

ホップ♪ ステップ♪ のとがわ

能登川地区まちづくり協議会

「滋賀県自主防災組織リーダー研修会」能登川で開催

1月21日(金)、22日(土)に、能登川地区で滋賀県主催の自主防災組織リーダー研修会が開催され、能登川地区からも40名が参加。



22日は滋賀県消防学校(神郷町)で研修



21日はやわらぎホールで開催。
能登川まち協から参加者にトン汁を提供(能登川支所玄関前に設置したかまどベンチを使用)



小学生ゲーム大会

2月11日(金)、能登川公民館大ホールで、空き缶積み(上の写真)、ビンゴゲーム、餅つき等をして遊びました。

主催：能登川地区子ども会指導者連絡協議会

第4回「まちづくり委員研修会」を開催



1月22日(土)「竹中半兵衛の墓」(川南町浄土寺)などを見学

東近江市老人クラブ連合会能登川ブロックのおじいちゃん・おばあちゃんと昔のお正月遊び



2月10日(木)
めじろ保育園
(あやとり)



「かまくら」を作りました

昨夜からの雪が運動場にた～っぷり。

みんなで「かまくら」を作りました。

(1月7日(金)、能登川西こどもの家 スマイル)

1月7日(金)
ひばり保育園
(コマまわし)

NO. 24

福祉のまちづくり講演会

2月5日(土)、やわらぎホールにおいて「福祉のまちづくり講演会」が開催されました。

守山の成人病センター老年内科 長濱先生を講師にお迎えして、「認知症」という病気の内容、早期発見から周りの対応(介護)について、会場の皆さんが心の中で不安に思っていた事をわかりやすくお話いただきました。

また、前半には、NPOほほえみによる認知予防ゲームで使われる手遊びがあり、会場全体が和んだようでした。



中川 岳士 君

(能登川中3年・東佐生)

全国大会へ出場する仲間も多い能登川中学陸上部で3年間練習し、秋の県中学駅伝でも区間賞を獲得。次の目標は来年の近畿高校駅伝への出場です。

(中学男子の部)

第49回
東近江元旦健康マラソンで優勝

第15回 無垢な魅力 能登川を歩くハイキング 健康向 織山からの眺望と 湖国の奇祭・伊庭の坂下し祭



5/4(祝)
小雨決行

- 受付・集合場所／
JR能登川駅改札口前(受付9:00～)
- 参加費用／500円
- コース等、詳しくは自治会回覧をご覧ください。
- 能登川商工会
TEL 0748-42-1158 FAX 42-6335
(平日 9:00～17:00)

※ハイキングに参加ご希望の方は事前に申し込みが必要です。

まち協による 廃食油回収を再開



能登川地区まちづくり協議会による廃食油の回収事業については、平成22年5月からできていませんでしたが、23年3月から、右の方法で再開しました。

この方法により、汚れ易く扱いにくい廃食油をまち協まで持ってきていただく手間もなくなり、回収が以前より進むと考えています。

廃食油回収ボックス設置を希望される自治会は、能登川まち協までご連絡ください。

- ①能登川まち協で廃食油回収ボックスを準備し、希望のある自治会に配布する。
- ②利用者は、廃食油をペットボトルに入れて、指定回収日(月1回を想定)に上記の回収ボックスに入れる。
- ③後日、回収業者の車が回収ボックスからペットボトルを回収していく。(月1回の予定)

認知症と

みんなで聞おう

第10話

認知症

早期発見の場所づくり

歳を重ねると共に心身のあちらこちらの機能低下します。そのひとつに認知機能もあります。すべての機能に言えることは個人差があることです。

また、体質のように先天的なもの、生活習慣や嗜好のように自分の意志で備えたもの、今まで生きてきた歴史によって老化現象の現れ方や進行速度に違いが出ます。

「介護予防」という表現にはいささか疑問を持ちますが適当な言葉が見つからないのも事実で、介護保険が破綻をきたさないよう介護を受ける人を減らす目的でクローズアップされています。

介護の面からだけでなく、誰もが「少しでも若く元気でありたい」という願いをもちながら、



福堂で「ふるさと絵屏風」を作成

50年から100年くらい前に遡った福堂の生活ぶりや地区内の様子を描いた「ふるさと絵屏風」が、丸2年かかってやっと完成を見ました。

この絵屏風の作成に取り組んだきっかけは、福堂の宅老所「おいでやす吉兵衛」のみなさんが目を輝かせて語ってくれる昔の話を、ただ聞き流すだけでなく何か形に残して後世に伝えて行きたいという熱い思いと、大正、昭和、平成を苦勞して生き抜いてきたみんなの「生きた証」につながるとの確信から話を進めました。

できあがった絵屏風は宅老所全員の努力の結晶です。一折の絵の中にみんなの気持ちが凝縮されています。

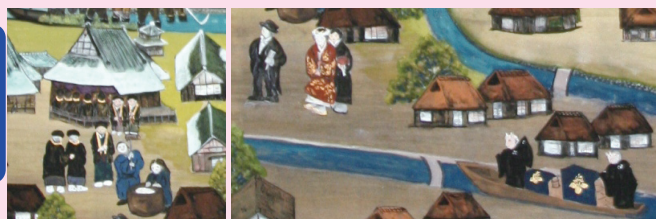
今ではすっかり様変わりした福堂地区ですが、冠婚葬祭や農業等の諸行事が水運と切り離しては考えなかった当時に現在を重ねると、隔世の感ひとしおのものがあります。

(福堂宅老所「おいでやす吉兵衛」)



絵師や表具屋さんにも恵まれて、美しく立派な仕上がり。春夏秋冬が描かれている。(寸法 1.8m×1.8m)

中央部分の拡大



▲「ぼんやり」
門徒の人が仏弟子になるための剃髪式の様子。お祝いの餅つきがされている。

▲嫁入り風景。
嫁入り道具は舟で運ばれている。

歴史点描 ⑤

市史編纂室だより

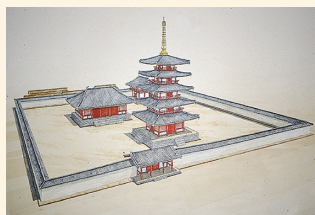
『能登川の歴史 第1巻 原始・古代編』を発刊

『能登川の歴史 第1巻 原始・古代編』は、縄文時代から平安時代までの能登川地区の歴史について、考古・文献・美術資料などをもとにまとめた歴史書です。

原始・古代編のみで1巻を構成するのはめずらしく、その背景には能登川地区で昭和50年代から継続して実施された発掘調査成果の蓄積があります。報告書にまとめ、郷土学習や体験活動などの啓発事業をすすめてきましたが、遺跡の内容についてはまだまだ知られていないのが実状です。



▲能登川石田遺跡(山路町・林町)から出土した土器



▲法堂寺廃寺(佐野町) 想像図

本書を読んでいただくと、能登川地区の原始・古代が浮かびあがることでしょうか。どうか手にとっていただき、郷土の成り立ちや先人のあゆみを学ぶ機会としてください。

第1巻 発刊記念講演会

■日時：4月16日(土) 午後1時15分から

■場所：やわらぎホール

■内容：「大中の湖南遺跡の発掘を語る」

富山大学教授 黒崎 直氏

「神崎郡そして近江の古代豪族と渡来人」

安土城考古博物館学芸課長 大橋 信弥氏

昭和40・41年に実施した大中の湖南遺跡の発掘調査の様子や神崎・蒲生両郡の古代豪族について、執筆者よりご講演いただきます。また、当日会場で『能登川の歴史 第1巻 原始・古代編』を4,000円にて販売しますので、ぜひお越しください。

■電話：0505-801-5011 または 42-5031 市史編纂室

2010 Lighting Bell in NOTOGAWA

■平成22年12月18日(土)～26日(日) ■林中央公園

ご協力ありがとうございました

7回目のイルミネーション点灯を無事終わることができました。昨年の11月21日からわずか7日間の準備期間でしたが、約250名のお手伝いをいただき、天候にも恵まれ丁寧な飾り付けができたこと自画自賛しております。

また、開催中の駐車場整理の充実により混乱もなく、受付では「ご苦労さん」と労をねぎらう声かけもあり、募金にも協力していただきました。



メインゲートは能登川中学校美術部の作品です

冬空の中、凛と輝く12万球の光に勇氣と安らぎを感じ、そこに集い語らう場所作りができたと思っています。

これからも「Bell the CAT…自ら進んで行動する」精神で光を灯していきますので、地域のみなさまのご協力と応援をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、近隣の方々には何かとご迷惑をおかけしたと思いますが、ご理解ご協力、誠にありがとうございました。

★主催：ライティングベル実行委員会

★共催：能登川地区まちづくり協議会

ご寄付・ご協力者一覧表 (敬称略・順不同)

阿部喜和、アズイン東近江能登川駅前、伊藤歯科医院、
 (有)石井工務店、大橋創園(有)、(有)大辻モーターズ、大辻自動車販売(株)、
 小田原医院、岡八商店、かわもと、加藤英男、かくれんぼ、
 木村智也、共和製作所(株)、くっく・ぼー(有)、(有)クルマヤ、
 スポットクリミ(有)、湖栄設備工業所、(株)コニシ、
 湖東信用金庫能登川支店、五個荘能登川ロータリークラブ、
 (株)造園佐野、三協(株)、ヘアーサロンシミズ、
 (有)ジャパンネットワークコーポレーション、杉田鉄工所(有)、
 能登川水車太鼓、扇久、スナックセレガ、(株)田辺消防システム、
 (有)田附牧場、大湖産業(株)、東陽開発(株)、ニシムラ風呂、森定男、
 吉村敏夫、永井康雄、保智明美、大和田絹代、
 ワールドファッション(株)ハタマタ美容室、藤よし、(有)鮎清、
 ベルトカンパニー、本庄接骨院、本庄治良堂薬局、堀田米酒店、
 水谷整形外科、雅寿司、武藤電気商会、武藤造園(株)、
 メガネ21能登川店、森野織物(有)、安岡哲也、理容ユカ、
 ラッキーレンタカー、ライフア能登川、
 能登川公民館男性料理講座有志、日本赤十字林町地区有志、
 竜王町青年団、(社)東近江市シルバー人材センター、遊友の会有志、
 ハンドベルなでしこ、新宮町有志、栗見新田町有志、
 レイカディア大学OB、能登川中学校美術部、
 能登川西こどもの家スマイル、
 能登川東こどもの家さくらんぼクラブ、
 能登川ボランティア連絡会

★
★
★
★
★
★
★
★
★
★
★

収支状況

(千円)

収	繰越金	435
	寄付金	384
	会場での募金	354
	能登川まち協より	340
入	収入合計	1,513
	開催準備費(事務費・広報費等)	107
	イルミ球・資材費・雑費	600
	ガードマン費用	340
出	支出合計	1,047
	差引金額(次年度に繰越)	466

平成23年度

能登川地区まちづくり協議会

「ホップ♪ステップ♪のとがわ」

総会開催のお知らせ

- 日時 5月21日(土) AM9:30～11:30
- 場所 やわらぎホール
- 内容 ①平成22年度事業報告並びに決算報告について
 ②平成23年度事業計画(案)並びに予算(案)について
 ③そのほか

■お問い合わせは、
 能登川地区まちづくり協議会事務局
 IP 0505-802-2793

まちづくりの思いを行動に！



合併前は町役場、公民館、図書館、博物館、行政区が一体となつて町民の生涯学習と社会教育活動を推進してこられました。それぞれ

の公の施設は拠点として、また情報発信の場として重要な位置を占めてきました。公の施設のあり方と補助金の在り方について検討してこられた、東近江市行政改革推進委員会の答申が平成22年12月27日、西澤久夫市長に提出されました。すでに、昨年10月に中間答申として概ねの内容は答申され、今回の最終答申はその仕上げを迫る内容となっております(東近江市のホームページに公開)。

今回検討された東近江市の施設(公の施設357、支所出張所7)のうち、195ヶ所を検討対象とされ、74ヶ所が移管、貸与、廃止等の方針を打ち出されています。能登川地区で大きな変化が見込まれるのは、耐震性がなく老朽

化が進んでいる能登川支所の建物の廃止(支所機能を「現能登川支所別館」を改修後移転)と、能登川勤労者会館の廃止。いくつかの児童館の移管や廃止です。

様々な事情により止むを得ない状況ではあり、いよいよ目に見えて変化が次々と押し寄せてくるといった感があります。いざ目の前に、事態が迫ってきて初めて行動や意見を言っても効果的なのとは少ないことがありません。これからも、多くの変革に関する情報が行政やメディアを通じて提供されます。市民として生活を営むものとして、より積極的に地域づくり、まちづくりに意見を述べ、行動に移してゆくことが、東近江市が良くなり、ひいては自分の住む町が良くなることに繋がると思われます。情報を的確に判断して、行動する市民活動に加わってみることは、みなさまにとって如何でしょうか。

能登川地区まちづくり協議会

会長 藤居 正博